

道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和元年 5月21日(火) NO. 1

この通信では、野々市
市中学校での道徳に
関する取組を紹介し
ていきます！



新年度が始まり、あっという間に2ヶ月が経ちました。新しい環境で、日々1人1人が目標を持って学校生活を送っています。来週は中間テスト、そして、次はいよいよブック大会です。3年生にとっては最後の勝負が始まります。部活動においても、野っ中生全員で「心」をひとつにし、熱き戦いを繰り広げていきましょう。

さて、本通信は「道徳通信」と題して、野々市中学校での道徳・人権に関する取組内容を紹介するものです。ニュース等でも取り上げられている通り、本年度の4月から中学校でも、「道徳」の教科化がスタートしました。そこで、本通信を発行することで、学校・家庭・地域の連携を図りながら、子どもたちの道徳性を育てていければと考えています。ぜひご家庭でも「道徳」「人権」について話題にしてみてください。そして、生徒の皆さんも、授業はもちろん、さまざまな場面でさまざまな考えに触れ、自分の見方・考え方を広げ、深めていってください。



◆「道徳」の時間では、どんなことを学習しているのでしょうか？

道徳の内容は、全学年、以下の4つの視点があります。それらの内容について資料をもとにしながら、1年間でまんべんなく学習するように計画して進めています。

- A 主として自分自身に関すること（自主・自律、節度・節制、向上心、個性の伸長、強い意志など）
- B 主として人との関わりに関すること（思いやり、感謝、礼儀、友情・信頼、認め合う心など）
- C 主として集団や社会との関わりに関すること（よりよい学校生活、集団生活の充実など）
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること（生命の尊さ、自然愛護、感動など）

※これらの内容は決して学校の中だけで学ぶものではなく、それぞれのご家庭の中でも、普段から大事にされていることかと思えます。今後も学校と家庭の両方で意識を高めていきましょう。

◆「道徳」が教科になると、これまでと何が変わるのでしょうか？

①検定教科書が使われることになります！

これまでの道徳の教材は、学校ごとに独自に選ぶこともありましたが、「特別の教科 道徳」では、検定教科書が用いられます。野々市市では、「新しい道徳」（東京書籍）と「ふるさとがはぐくむ道徳いしかわ」（石川県教育委員会）の2つを使用して、授業を進めていきます。

②評価の充実を図ります！

道徳科の授業では、学習状況や道徳性にかかわる成長の様子を把握して、道徳的価値の理解をもとに自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めているかを評価します。評価は数値ではなく、記述式で行います。

野々市中学校では、年間を通して、1年間の成長の様子を3学期末にのみ通知表に記述いたします。



～2年生の授業から～

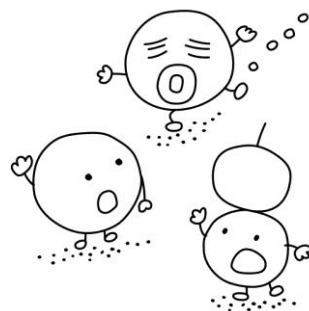
2年生では、4月のはじめに全クラスで「あいさつ」に関する授業をしました。「あいさつ」の大切さについてはこれまでも学んできましたが、今一度あいさつや礼儀の意義を考えることを通して、時と場に応じて主体的に適切な言葉づかいや行動をとることの重要性について考えました。

【あらすじ】

本教材は、ある中学校の先生が自分の学級での様々な経験からまとめたものです。主人公のタマゴマンは、学級会で友達の考えを聞き、あいさつについて多様な考えがあると知ります。また、仲の良い3人での帰り道における話や、近所のおばさんにあいさつを返した3人の心情に共感することで、あいさつの意義や必要性について考え、理解を深められます。

☆授業の感想☆

あいさつや礼儀は、人とコミュニケーションをとるため、人と仲良くするために必要だと思います。いつもあいさつをしてくれる人は信頼できるし、初めてあいさつをしてくれた人には、自分もあいさつをしようという気になります。あいさつは人と関わるためには絶対に必要なものだと思います。



あいさつは、人と人が関わるためのコミュニケーションや、自分の力になる言葉、そして、当たり前にならなければいけないものだと思う。あいさつをすることで相手の気持ちがわかったり、今日もがんばろう！おつかれ！って言えたりするし、とても大事だと思う。将来社会に出たときには、あいさつをしっかりして、人と仲良くなったりしないといけないので、今の間から当たり前のようにしようと思う。

あいさつや礼儀をきちんとすることで、あまり仲良くない人とも仲良くなれるきっかけにもなると思うから、あいさつや礼儀は大事だと思います。また、それをする事で笑顔が増えると思うから、必要だと思いました。

学校だけではなく、大人になっても一生使っていくものだと思います。学校の外でも「こんにちは」は言うし、将来仕事をするときにも、あいさつは大切な礼儀だと思います。

朝、あいさつをすると気持ちがよくなり、良い1日のスタートをきることができるから、あいさつや礼儀は必要だと思う。

あいさつは、人をうやまう気持ちや尊敬する気持ち、リスペクトする気持ちを相手に伝えるための言葉だと思います。

皆が気持ちよく過ごすため、自分は「元気だよ」という意思表示のためにあいさつは必要だと思う。「あいさつ」の意味、必要性を再確認できた。誰にでも、自分からあいさつしたい。

※次回は他学年の授業の様子を紹介します。